



金属ETF



2011. 06. 01
WED

金属ETFとは

- 非鉄金属に連動するETF
- 東証に上場したのは2010年3月
- イギリスのETFセキュリティーズが運用
- 銅やニッケル、複数の非鉄金属をバスケットにした「産業用金属商品指数」

少し E T F について勉強します



そもそもETFとは何か

■ **E**xchange

■ **T**rade


■ **F**unds の略

日本での正式名称は「株価指数連動型上場
投資信託」

E T F とは

- 投資運用をファンドマネージャーに任せる点では投資信託と同じ
- ただし E T F は上場しているという点異なる
- また投信と違って「売り」から入ることもできる

日本における E T F

- アメリカの 5 5 0 本に対して日本ではわずか 7 9 本 (2 0 0 9)
 - 日本国内で設定された E T F でなければ日本の証券取引所に上場できなかった
 - また株式や債券は金融庁管轄だが、小麦は農水省、金属類は経産省管轄と縄張り意識が強かった
 - 昨年の日銀の金融緩和において E T F を購入
- 

ETFの今後

- アメリカではETF価格が年平均5.4%上昇
- つまり毎年1.5倍近くも市場が拡大している
- 株、債権、先物商品、不動産など投信よりもカバー範囲が広い
- 手数料が安いので個人投資家向け

なぜ金属 E T F が注目されるのか

- 株式とは異なる動きをする
- 米欧日の金融緩和により投機資金が流入
⇒ 金や銀をはじめとして軒並み歴史的な高価格に上昇
- 企業の生産コストとの関連

非鉄金属投資の魅力

- 短期間での大幅な値上がりが期待できる

実際、今年3月までの半年間で

銅 ⇒ 18%

アルミニウム ⇒ 10%

ニッケル ⇒ 11%

の伸び率を記録



金属ETFの価格変動傾向

品目	ボラティリティー (%)
金	19
銀	34
銅	32
アルミニウム	23
株式	約20
日本国債	約5

日経新聞より
ボラティリティー = 価格変動幅

さてここで問題です

株式・商品・為替を
価格変動幅の大きい順に並べ替えると？

A. 個別株 > 商品 > 為替

Volatility calculated over the last Weeks

クエリ送信

		pips	\$	%
●	EURUSD	147.3	1,473.0	1.02
	GBPUSD	146.1	1,460.7	0.89
	USDCHF	111.0	1,302.2	1.30
●	USDJPY	78.6	966.1	0.97
	EURGBP	77.0	1,267.5	0.88
	EURCHF	133.3	1,563.0	1.08
●	EURJPY	145.2	1,785.2	1.24

金属 E T F の価格変動動向

- 非鉄金属の価格変動幅は比較的大きいことがわかる
- 市場規模が小さい・流動性が少ない
- 大半が産業向けで実体景気の動向に敏感

補足

- 貴金属は保有しているだけでは利子も配当も生まない。
- 産業資材である貴金属の動向がみえるとそれを扱うメーカーの動向もわかってくるかも

ただし株価との相関は薄い

S&P500と非鉄3品目の相関係数はいずれも0.2前後



補完関係にあるというよりも株価を先取りする形で
ダイナミックに相場が動く




ここからは個別の商品を見ていく



金 (gold)



金 E T F

- 2007年8月に大阪証券取引所に初登場 ⇒ 「金価格連動型上場投資信託」
 - 金価格に連動する債券を買う仕組み「債権連動型ファンド」
 - したがって債券発行元の倒産・デフォルトリスクがある
- 

補足

東証に上場している金のETF ⇒ 「SPDRゴールドシェア」

こちらは大証とは違って現物取引。

しかし実際の交換は米国で10万口単位で行われる。

したがって現在の価格だと現物を手に入れるのに約120億円必要w

金の特徴

- 株式市場が不安定な際に飼われる
- 「有事の金」
- 為替変動リスクにさらされやすい
- 株価の動きとは相関性が無いので分散投資の対象となりやすい
- 流動性・換金性が非常に高い
- 国際情勢不安やドル安局面で買われる
- 金とS & P 5 0 0とのボラは-0. 0 4

金

- 金は「無国籍通貨」
- 1975年の金本位体制崩壊後、自由取引が認められる
- 各国中央銀行が「支払準備金」として保有。最も多くを保有しているのはアメリカ

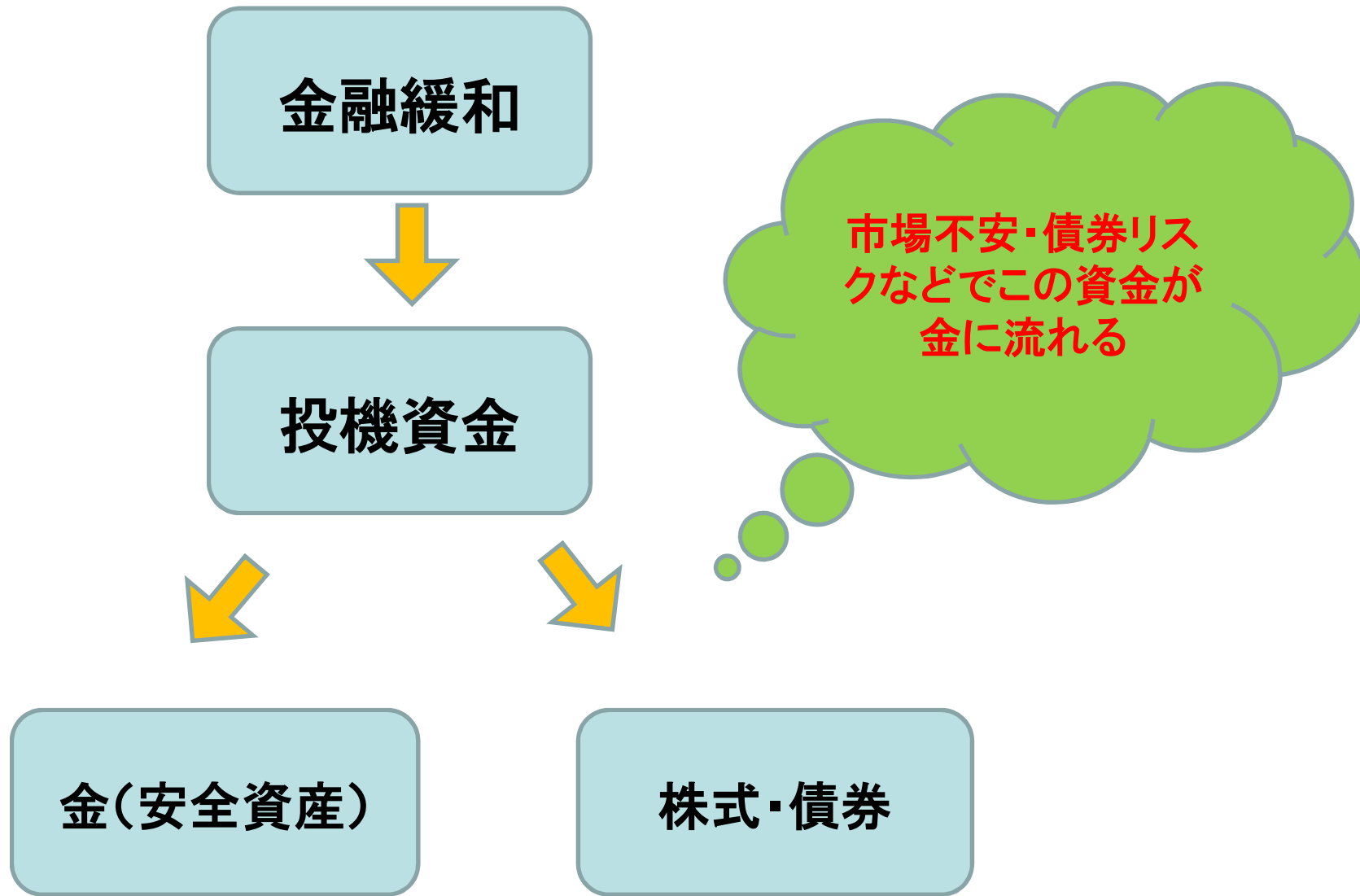
余談

-
- 地質学的に地球上で採掘可能な金の埋蔵量は一辺が20mの立方体に収まるらしい

金価格

- 2008年3月17日に史上最高値を記録 (32713 \$/kg)
- 最安値は8131 \$/kg (1999)

現在の金価格上昇メカニズム



※金は国債よりも安全資産であるという見方もある

銀

- 金は「貯蔵される金属」
- 銀は「消費される金属」

- 貯蔵量の減少とともに希少性増加
- チャイナシンドローム

銀

- 銀の代表的な需要もとは写真カメラ
- 今では宝飾品や工業用金属、大容量のDVD-Rなど
- EX：携帯電話、消臭剤など
- 最近では太陽光パネルやプラズマテレビなど

金属とUSDの動き

金や銀などは米ドル建てで取引される。
したがって…

ドル下落



金属価格上昇



ここ数年ドル安相場なのでこれも金属の
価格上昇ファクターになっている

レアメタル

- リチウムやチタンなど
- 2010年1月、東証はレアメタルETFを遅くとも2011年3月までに上場すると発表 ⇒ いまだ実現せず

レアメタル

- 産出地の偏在 ⇒ 中国・ソ連・アフリカ
- レアアースなどは中国だけで90%以上の埋蔵量
- 安定供給やリサイクル技術の確保が課題

レアメタル

■ 非鉄メジャーの台頭

世界的非鉄メジャーに日本企業は含まれていない

主な非鉄メジャー

BHPビルトン ( ・ )

リオ・ティント ( ・ )

アングロ・アメリカン ( ・ )

その他金属

- 銅は2012年まで3年連続の需要増加見込み
- ニッケルやアルミは今年、供給過多になるとみられる
- アルミは生産コストが高く、最大生産国である中国の電力問題がカギ

個人的見解

- 金融緩和により工業用金属の値段が上がることは経済成長下押しの潜在的な要因とならないか？
- 金は本当に安全資産なのか？（暴落の可能性は？）